

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	通学路街頭指導員経費		事業コード	23210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	~63
施策名	第1施策	交通事故のないまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

小学校通学路学童横断街頭指導員配置基準

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
学童が横断する危険箇所に通学路街頭指導員を配置し、登校時における学童の安全確保を図る。		通学児童	
		対象数	9,813人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
学校長より推薦を受けた者に街頭指導方法講習を実施 学童の登校時間に、配置地点における交通の整理・誘導を実施 平成13年度指導実績 指導員数 53人(平成14年3月31日現在) 指導箇所 47箇所 配置校数 27校 謝礼770円×10,638日=8,191,260円 消耗品費(ウィンドブレーカー8着・防寒着16着) 162,960円		交通安全指導の推進	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	指導実績率	交通事故防止達成率
指標式	実際の年間指導日数/年間指導予定日数×100	100-(今年度事故の起きた配置箇所/配置箇所*100)
指標設定の意図	指導員の指導日の成果を表す。	指導員が配置された危険箇所で、交通事故防止の達成率を示すため

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	97	b
指標	100	100	c	100	d
指標			e		f
事業費	決算(予算)額	7,733	7,774	8,354	8,580
	人員・時間数	(0.15人)	(0.15人)	(0.15人)	(0.15人)
	人件費	1,263	1,263	1,263	1,263
	その他経費	0	0	0	0
	合計	8,996	9,037	9,617	9,843
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 98.5%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{97.0}{100.0} \times 100 = 97.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由:	指導員の適正配置及び配置箇所での交通事故0件から、交通事故防止の目標は達成できた。しかし、指導実績率は、毎朝決まった時間に天候にも左右されず責任感の重い仕事という点から、指導員がなかなか決まらなかったため下がっている。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由:	集団登校における交通安全対策は図られているが、下校時の交通安全対策は図られていない。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	薄謝により児童等の通学時の安全が確保されている。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	通学路の危険箇所、各小学校のPTA等で交通指導の対応ができない場所に、市が指導員をつけるものであり、代替の可能性ない。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	児童等の通学路の危険箇所に、指導員が立つことによって、交通事故の防止が図られている。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	集団登校時の道路横断の安全性を確保するのに有効である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 登校時のみの交通指導だけではなく、下校時の指導も検討する必要がある。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 報償費は他市と比較しても薄謝であり、また、消耗品に関しても安全に指導を行う上で、必要最低限のものを支給している。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	(平成13年7月末)
			相模原市 通学路学童横断街頭指導員51名 勤務時間約1時間 時給770円 伊勢原市 交通整理員(非常勤特別職員)6名 勤務時間5時間 時給810円 シルバー人材センターから2名 座間市 学童交通安全指導員(臨時非常勤職員)7名 勤務時間4時間 日額4,345円~ 大和市 通学指導員(非常勤特別職)1名 勤務時間5時間 月額112,500円
今後の進め方		説明	薄謝で大勢の方に御協力いただき、配置箇所交通事故0件という目標を達成しているため。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--